

第 13 回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ (PPL2011)

<http://www.info.kochi-tech.ac.jp/pp12011/>

論文募集

主催: 日本ソフトウェア科学会 プログラミング論研究会

日程: 2011 年 3 月 9 日 (水)~3 月 11 日 (金)

会場: 北海道札幌市 定山溪ビューホテル <http://www.jozankeiview.com/>

PPL2011 は、プログラミングおよびプログラミング言語に関する研究者が一堂に会し、最新の研究成果の発表、および新たな研究課題についての討論やアイデア交換等を行うことを目的とした、合宿形式のワークショップです。プログラミングおよびプログラミング言語の理論・設計・実装・処理系などに関する研究発表を、カテゴリ別に幅広く募集します。

カテゴリ 1: 国内外で未発表の論文の発表

カテゴリ 2: 国際会議・学術雑誌等で既発表であるが、国内では未発表の研究の紹介

カテゴリ 3: ポスター・デモ発表 (既発表・未発表の別を問いません)

今回はショートプレゼンテーションは行いません

カテゴリ 1 の採択論文の中から、特に独創的なアイデアや顕著な成果を含むものに対して論文賞を授与する予定です。また、ポスター・デモを含む全発表のなかから、聴衆の投票により、最も優秀なプレゼンテーションに発表賞 (一般の部、学生の部) を授与する予定です。

カテゴリ 1 (国内外未発表論文)

完成した理論やシステムの研究発表のみならず、萌芽的なアイデアや問題点の提示等も歓迎します。発展途上の研究内容も積極的に採録する方針です (ただし、PPL での発表として相応しくないと判断される場合は、この限りではありません)。また、カテゴリ 1 で発表された研究については、会場での討議や査読コメントをもとにその完成度を高め、将来の学術雑誌・会議等での業績に結び付けることを奨励しています。そのため、従来と同様、予稿集の配布は参加者のみへの限定的なものとし、Web ページにも論文本体は置かない予定です。

カテゴリ 1 で発表された研究のうち、PPL2011 プログラム委員会として優れていると認めるものは、PPL2011 終了後 (2011 年 4 月下旬予定)、「コンピュータソフトウェア」誌 PPL2011 推薦論文としての投稿が可能です。推薦論文は、PPL プログラム委員が引き続き査読を行うことによる、迅速な査読プロセスを特長としています。

カテゴリ 2 (国外既発表論文)

査読付の国際会議または学術雑誌等で既発表であるが、国内では未発表な研究の紹介をする場です。採録決定済みの研究も含まれます。PPL への関連をもとに採録を判定いたします。

カテゴリ 3 (ポスター・デモ発表)

2 時間程度のセッション内でのポスター発表またはデモ発表です。既発表・未発表の別を問いません。PPL への関連をもとに採録を判定いたします。なお、PPL2011 ではポスターやデモによる活発な意見交換を促進したいという観点から、ショートプレゼンテーションのセッションは設けません。

投稿・発表申込要領

3つのカテゴリそれぞれに対して、投稿は以下のように行って下さい。最新の情報は上記 Web ページでご確認下さい。なお、PPL2011 では、発表者の希望により発表の様子をインターネットでストリーミング放映することを検討しております。

カテゴリ 1 (国内外未発表論文)

投稿手続きは二段階です。発表申込を行った上で論文提出を行って下さい。投稿手続きは、すべて以下の Web ページを通してオンラインで行います。

発表申込先: <http://www.easychair.org/conferences/?conf=ppl2011>

発表申込締切: 2010 年 12 月 20 日 (月)

著者名, 所属, 論文タイトル, 論文概要 (日本語 300 ~ 400 字程度もしくは英語 200 words 程度) を提出してください。上記 Web ページのフォームに入力する日本語の文字コードは、すべて UTF-8 にしてください (注意: フォームにおいて、change information をクリックすると文字化けが発生する場合がありますが、情報の登録は正しく行われますので問題ありません)。

論文提出締切: 2011 年 1 月 7 日 (金)

15 ページ以内の論文 (英語もしくは日本語, PostScript もしくは PDF 形式) を提出して下さい。

採否通知: 2011 年 2 月 1 日 (火)

最終原稿提出締切: 2011 年 2 月 14 日 (月)

採録された論文の最終原稿の提出方法は、採否通知にてお知らせいたします。

(注) カテゴリ 1 への投稿論文と類似の論文を、他の会議 (予稿集を出版するもの)・論文誌などに同時投稿する場合は、査読の有無に関わらず、その旨を発表申込および論文提出の際に明記して下さい。PPL では同時投稿の事実のみをもって論文を不採録とすることはありませんが、採否の決定に利用する場合があります (他の会議との重複を避けるため、発表内容についての条件付採録とすることもあります)。

カテゴリ 2 (国外既発表論文)

発表申込先: submission-ppl2011@pplab.is.ocha.ac.jp

発表申込締切: 2011 年 1 月 24 日 (月)

カテゴリ 2 の申込締切が例年より早くなっていますのでご注意ください。

原論文 (ページ数不問, PostScript もしくは PDF 形式) と abstract (テキスト形式) を、著者名, 所属, 論文タイトル, 原論文の出典 (発表会議名, 掲載誌 / 予定の別等) と併せて上記申込先宛にお送り下さい。申込後、翌日までに受付確認が届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

採否通知: 2011 年 2 月 1 日 (火)

最終原稿提出締切: 2011 年 2 月 14 日 (月)

(注) カテゴリ 2 の申込締切が例年より早くなっています。2 月初旬に採否が決定する国際会議については、あらかじめ別途、下記問い合わせ先までご相談ください。

カテゴリ 3 (ポスター・デモ発表)

発表申込先: submission-ppl2011@pplab.is.ocha.ac.jp

発表申込締切: 2011 年 2 月 7 日 (月)

著者名, 所属, 発表タイトル, 発表概要 (200 ~ 300 字程度), 希望する発表形態 (ポスター・デモの別), をテキスト形式で上記申込先宛にお送り下さい。申込後、翌日までに受付確認が届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

採否通知: 2011 年 2 月 14 日 (月)

問い合わせ先: organizers-ppl2011@pplab.is.ocha.ac.jp

プログラム委員会

浅井 健一 (お茶の水女子大学), 磯部 祥尚 (産業技術総合研究所), 稲葉 一浩 (国立情報学研究所), 今井 宜洋 (IT プランニング), 岩崎 英哉 (電気通信大学), 馬谷 誠二 (京都大学), 亀山 幸義 (筑波大学), 河内谷 清久仁 (日本 IBM 東京基礎研究所), 久野 靖 (筑波大学), 中田 景子 (Institute of Cybernetics), 中田 秀基 (産業技術総合研究所), 蓮尾 一郎 (京都大学・JST さきがけ), 長谷川 立 (東京大学), 番原 睦則 (神戸大学), 廣川 直 (北陸先端科学技術大学院大学), 森畑 明昌 (東北大学), 横山 大作 (東京大学)

実行委員会

浅井 健一 (お茶の水女子大学) [プログラム共同委員長]
河内谷 清久仁 (日本 IBM 東京基礎研究所) [プログラム共同委員長]
松崎 公紀 (高知工科大学) [実行委員長]